

多摩区の農産物

8月 中旬 多摩川梨

多摩川流域を中心に梨の一大産地が広がる。川崎が発祥地といわれる「長十郎梨」をはじめ、人気の高い「幸水」や「豊水」などさまざまな種類がある。糖度が高く、甘いのが特徴。



春には白いきれいな花を咲かせる

直売やもぎ取りも！
多摩区内の農園の情報については、7月頃にJAセレサ川崎のウェブサイトに掲載される予定。



田村果樹園

5代目、田村賢太郎さんの祖父の祖父から続く梨園。中野島駅から徒歩4分の場所に1ヘクタールの梨畑が広がる。販売品種は幸水、豊水、秀玉、あきづきなど7種類。園前の売店で直売・発送ほか、もぎ取りもできる（完全予約制）。
☎044-944-7941 中野島1-7-10
🕒9:00~18:00 詳細はホームページ（「田村果樹園」で検索）

※天候や生育状態により変更の場合あり。



梅

岸井梅園

約60年前、台風で土砂崩れで荒れ果てた農地を再生しようと植えられた梅の木。現在も2代目園主の岸井洋一さんが、約130本の木を守り続ける。2月中旬には花が見頃を迎え、5月中旬の収穫期には青梅の直売も行われる。
☎044-977-6107 長沢2-8961



2月 下旬~ のらぼう菜&かわさきつや菜

のらぼう菜

のらぼう菜は菜花の一種。菅地区では800年ほど前からつくられており、今でも200軒の農家が栽培をしている。2月~5月上旬の収穫期には農家の軒先などで販売される。



レシピ

のらぼう菜はアクが少なく、甘みと独特の香味が特徴。定番のおひたしや胡麻和えはもちろん、生のままサラダにするのもおすすめ。フルーツと一緒にスムージーにしても◎

菅地区の農家の軒先や地元スーパーなどで販売



多摩区生まれの新品種「かわさきつや菜」

多摩区菅地区で古くから栽培されている伝統野菜「のらぼう菜」。市農業技術支援センターが研究を10年以上重ね、2019年に新品種「川崎農技1号」が誕生。多くの人に親んでもらえるように愛称とロゴマークを公募し、「かわさきつや菜」に決定した。のらぼう菜と比べて葉や茎に光沢があり、くせがなく強い甘みが特長。収穫期の2月下旬から4月上旬ごろまで、JAの直売所などで手に取ることができる（数に限りあり）。



イチゴ

Strawberry Farm BUNKAEN

多摩区で初めて2018年に開園したイチゴ農園。若手農業者として新たな試みに積極的な園主の北見純一さんは、量より質を重視した栽培方法の改善に取り組んでいる。収穫は12月末からで、2月頃からはイチゴ狩りもやっている。
☎090-4373-1583 楯形1-8-12 不定休（HPで更新）



上原さんちのいちご畑

パーソナルトレーナーの仕事から一転、就農2年目の2019年にイチゴ栽培を始めた園主・上原脩太さん。農家の長男として美味しいイチゴを探究し続ける。甘み・酸味・香りの3拍子が揃った「よつぼし」を中心に、直売などを行っている。

☎090-4226-1515 菅福田堤1-12-27 月曜・金曜



多摩区観光協会より
ごあいさつ



会長 末吉 一夫

皆さまに親しんでいただいている「はなもす」を今年も発行することができ、御協力いただいた関係者の皆様には心より感謝申し上げます。今回の「はなもす」は、区内のみどころや地元の名店に加え、生田緑地がコア会場となる「川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア」も紹介しています。

昭和63年から実施している登戸の区画整理も終盤に差し掛かり、新たな「まち」に生まれ変わっています。多摩区の魅力がたっぷりつまった「はなもす」を手を、ぜひ区内をめぐっててください。

地域の魅力を発信
多摩区
観光協会

多摩区観光協会は、稲田多摩川観光協会、稲田堤観光協会、多摩区観光推進協議会を統合して2014年に発足しました。地域資源のPRや観光活性のイベント企画、ボランティアによるガイドツアーなどに取り組んでいます。

多摩区観光大使

川崎新田ボクシングジム 新田 渉世 会長

「地域密着・ボクシングジムを通じた人間教育」を掲げる登戸のジム。チャンピオンを輩出する傍ら、地元の夏まつりや講演会だけでなく、防犯ロードワークなどにも取り組み、地元から愛される選手育成に励んでいます。新田渉世会長は「これからも地域に貢献できるよう、さまざまな取り組みに参加していきたい」と話しています。



初代 多摩区観光大使

一玄亭米多朗(元・桂米多朗)



多摩区出身



多摩区観光協会主催

多摩区わくわく周遊 スタンプラリー

多摩区の魅力を知ってもらうため、代表する観光資源である「多摩川」と「生田緑地」を活用して、まちなかを巡るスタンプラリーを11月に開催しました。

ピクニックタウン多摩区とは？



ピクニックタウン多摩区

森・川・原っぱなど、多摩区の豊かな自然環境を生かして、ピクニックを楽しむまちづくりのこと。さまざまな年代がつながり、「このまちに住みたい・住み続けたい」と思う人を増やし、まちの活性化につなげることを目指しています。

はなもす
とは...

多摩区の木は「ハナミズキ」と「ナン」。そして区の花は「モモ」と「スマイル」。この頭文字を合わせた「はなもす」は、たくさんある多摩区の魅力をぎゅっと凝縮するという意味を込めた造語です。

多摩区内イベントの最新情報は多摩区観光協会ホームページをチェック！

多摩区見どころガイド

検索